

心不全看護外来における生活指導が心不全患者の再入院率に与える影響に関する研究

1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院において、2016 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に非代償性心不全により初回入院し、退院後 6 か月間当院へ通院した年齢 20 歳以上の方を対象とします。

2. 研究目的・方法

近年、心不全患者の増加に伴い、患者自身によるセルフケアの重要性が高まっているが、看護外来で行われる生活指導が再入院率や臨床指標に与える影響については十分に検証されていない。本研究は、慢性心不全患者における再入院予防および病状管理に対する心不全看護外来での生活指導の有効性を明らかにすることを目的とする。

方法としては、高知大学医学部附属病院において非代償性心不全により初回入院し、その後当院へ通院した患者を対象とし、「看護外来非介入群」2016 年 1 月～2017 年 12 月の期間に心不全看護外来の対象基準に該当する患者と「看護外来介入群」2018 年の心不全看護外来開設後に看護外来において生活指導を受けた患者とする 2 群間にて、心不全増悪による再入院率に与える影響などを臨床データより探索的に検討します。

これらのデータは研究目的以外には使用せず、個人が特定されないよう匿名化して扱います。

利用を開始する予定日：2026 年 9 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

診療記録をもとに後ろ向きに調査を行います。調査内容は、年齢、性別、身長体重などの基本情報、心不全の発症状況や治療や処方薬などの心不全関連情報、血液検査、心エコー、心臓カテーター検査などの検査所見、併存症や既往歴などの情報、歩行機能や握力などの身体機能や老年症候群関連指数などの診療情報、および心不全手帳の確認など心不全看護外来における指導内容の情報を収集します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部看護学科

研究責任者：西井 幸香

住所：〒780-0916 高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-888-6249

E-mail：nishiiy@kochi-u.ac.jp

-----以上